

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	経済学部
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適性に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

○2009年度からの目標

- 多様な入試形態の学生の質的向上を促進する（入試形態別、指定・提携・継続・協定校別の入学後の追跡調査の精緻化、調査分析結果の受入れ人員枠設定への反映等による、意欲的な学生の受け入れ促進）。
- プレゼンテーション審査を重視したAO入試制度を導入する（2010年度入試より導入）。
- 学生によるジョイント・ディグリー制度の利用を促進する。

○指標

- 指定・提携・継続・協定校に対する高校別追跡調査の実施（現行の入試形態別から、高校別に学業成績や他の活動等での活躍状況を追跡調査し、その後の学生の受け入れなどへ反映）。
- AO入試のスポーツ実績以外の学生の割合（スポーツ以外のカテゴリーの学生の受け入れ50%以上の維持）。
- ジョイント・ディグリー制度を活用する学生数（5年以内に年間10名以上）。